

The Great Nostalgic Beauty



平成11年 8月24日～ 9月18日

10月27日～11月20日

秋田県公文書館特別展示室

秋田県公会堂（無明舎出版『写真帖 秋田市いまむかし』）

県庁文書に記録された

秋田の近代建築

近年は明治から昭和戦前頃までの近代建築物について、文化遺産としての価値が見直され、関心が高まりつつあります。今回の企画展では、県庁の土木行政で営繕関係を担当した部課系の簿冊群から、県有建築物の工事に関わるものを中心に紹介いたします。すでに失われた建築物に関する貴重な記録であり、展示紹介が皆様の利用に役立つことを願ってやみません。

秋田県公文書館

県庁文書（土木行政営繕関係）について

当館の公文書書庫には、明治4年(1871)の廃藩置県から現代にいたるまでの公文書と行政資料が保存されています。公文書は、県が職務上作成したり取得した文書をいい、行政資料は県のほか、国あるいは市町村の行政機関で発行された印刷物等をいいます。これらを総称して「県庁文書」と呼び、当館では、現在、整理の済んだ昭和20年までのものを一般の閲覧利用に供しています。

公文書は部課係ごとに一年分あるいは数か月分が簿冊^{ほくさふ}の形に綴^とじられています。今回の企画展では、土木行政の分野で、県庁舎や県有建築物の営繕（建築と修繕）を担当した部課係の簿冊群を紹介します。担当の部課係は明治・大正時代に県庁組織の改編で何度も変わりましたが、展示では簿冊群を一連のシリーズとして扱いました。

営繕関係の公文書は、建築修繕の資材購入費や人夫賃金、請け負い工事費などを県の財政から支出するために作成されたものが中心です。建築工事そのものの記録でないため、建物の設計図面が簿冊に綴じられなかった時期もありました。そのため、県庁舎や県公会堂などの建物は、調査する際に若干の制約もあります。しかし、現在では失われた県有建築物について記録されている数少ない貴重な資料です。

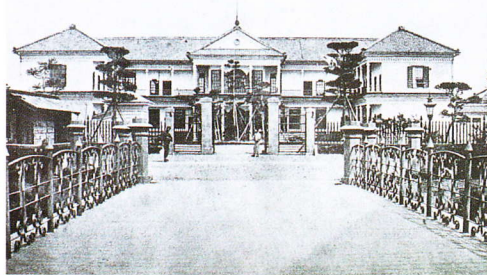


秋田県庁舎の建築に関する簿冊

秋田県庁は、明治6年(1873)より秋田町長野町の旧佐竹義尚邸に置かれていました。しかし、間取りが不便な上、土台などの老朽化で修繕費用が年々かさんだため、11年に内務省の許可を受け、土手長町中丁に洋風の県庁舎が新築されることになりました。新築工事は土木課営繕掛^{えいせんかけ}の担当で、13年に落成しています。秋田県に初登場した洋風県庁舎は、下見板張り^{したみいたばり}の外壁が白ペンキで塗られ、バルコニーもめぐらされるなど、文明開化のシンボルともいえる建物でした。

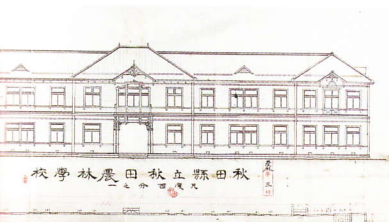
現在、この新築工事に関する公文書は『土木課事務簿 県庁新築之部』8冊分と新築費の受払簿^{うけはらいぼ}など3冊が残されています。しかし、大部分が資材購入のほか、費用の支出に関するもので、設計

図面など建物全体の姿が分かる記録はほとんど見当たりません。秋田県庁舎は、大工の棟梁が洋風建築をまねた「擬洋風建築」と呼ばれるものでしたが、昭和32年(1957)の火災で失われました。しかし、残された簿冊から得られるデータは多く、県庁舎新築の際の営繕掛の動きや、資材の購入先など詳しく分かります。また、内部の建具なども部分的に絵図が残っています。



旧秋田県庁舎（『秋田県史』第五巻 明治編）



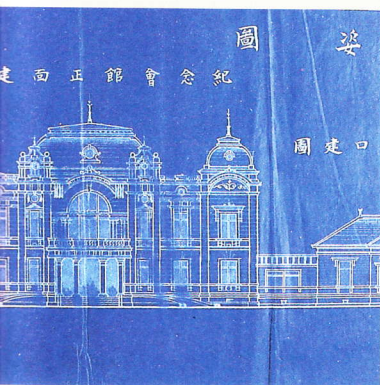


秋田農林学校の校舎図面（大正3年）

県立学校校舎の建築に関する簿冊

明治32年(1899)の「中学校令」、「高等女学校令」、「実業学校令」により中等教育制度が拡充し、以後、県内でも中等教育の県立学校があいついで設立されました。県立学校校舎の建築は県の土木行政の仕事であったため、多くの関係簿冊が残されています。

しかし、校舎の新築や再築に関する簿冊がすべて伝わっているわけではありません。横手中学校（現在の横手高校）の場合は、明治35年の豪雪で校舎が押しつぶされた際の修築に関する『横手中学校図面』が残るだけです。秋田高等女学校（秋田北高校）の場合は、42年の寄宿舎建築に関する『高等女学校建築費』が残っています。新築や再築に際しては、建築費に関する簿冊が必ずあったはずですが、長い年月の間に失われたものも多いようです。現在残っている簿冊は、ほかに大館中学校（大館鳳鳴高校）、本荘中学校（本荘高校）、秋田工業学校（秋田工業高校）、秋田農業学校（大曲農業高校）、秋田農林学校（鷹巣農林高校）のものです。明治の末から大正にかけて建てられた秋田農業学校（再築）と秋田農林学校は、建物の内部と外部の設計図面がたくさん保存されています。

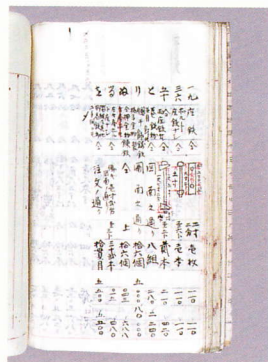


秋田県記念会館の青写真（大正4年）

秋田県公会堂と秋田県記念会館の建築に関する簿冊

秋田県公会堂は、明治37年(1904)に皇太子（大正天皇）御成婚記念として、秋田市千秋明徳町に建てられました。大正7年(1918)には、その隣りに大正天皇即位記念として秋田県記念会館が建てられています。二つの建物は渡り廊下で結ばれるはずでしたが、記念会館の完成直前に公会堂が火災で焼失してしまいました。以後、記念会館が県の文化行事の殿堂となり、昭和36年(1961)に現在の県民会館に後をゆずりました。

公会堂は、明治の建築界でフランス派をリードした片山東熊^{かたやまとうくま}の設計です。片山の代表作は赤坂離宮（迎賓館）で、公会堂も壮麗な宮廷建築風でした。しかしながら、その全体の分かる設計図面はほとんど残されていません。公会堂の建築関係簿冊は11冊保存されていますが、明治30年代頃までの建築関係簿冊は一般に費用支出の公文書が中心で、設計図面はあまり綴じられない傾向にありました。設計図面が綴じられるようになるのは40年代以後です。記念会館は、イギリス派のリーダーだった辰野金吾により設計されました。建築関係簿冊は5冊ですが、公会堂とは対照的にたくさんの図面が綴じられていて、精密な復元模型を作ること可能なほどです。



秋田県公会堂建築関係書類（明治36年）



記念会館カーテン購入時の布地見本（大正7年）

展示紹介の簿冊目録

資料番号	年 代	資 料 名	備 考
6134	明治 8年	第一課土木係事務簿	営繕之部 一 番
6135	明治 8年	第一課土木係事務簿	営繕之部 二 番
6136	明治 8年	第一課土木係事務簿	営繕之部 三 番
6155	明治14年	土木課営繕掛事務簿	営繕之部 一 番
6156	明治14年	土木課営繕掛事務簿	営繕之部 二 番
6183	明治21年	第二部土木課事務簿	営繕之部 二ノ二
6208	明治21年	県会議事堂建築関係	
6204	明治11～13年	土木課事務簿	県庁新築之部 一 番 二ノ一
6186	明治11～13年	土木課事務簿	県庁新築之部 三 番 三ノ二
6203	明治11～12年	土木課事務簿	県庁新築之部 四 番 二ノ二
6189	明治11～13年	土木課事務簿	県庁新築之部 五 番 二ノ二
6194	明治12～13年	土木課事務簿	県庁新築之部 六 番 三ノ二
6190	明治12～13年	土木課事務簿	県庁新築之部 三ノ一
6200	明治12年	県庁新築費支払小訳帳	十一月更生 県庁新築取調掛
6199	明治12年	県庁新築費金受払内訳簿	十一月更生 県庁新築取調掛
6210	明治33～38年	公会堂建築費決議書類	建築係
6219	明治35年	県公会堂建築費決議綴	建築係
6216	明治36年	公会堂建築書類	建築係
6220	明治36年	記念秋田県公会堂建築工費支払決済綴	完結之部
6214	明治35年	行啓二関スル建築修繕工費簿	建築係
6231	大正 4～ 7年	記念館建築費本年度支出額節工事監督 其他諸費支出関係及雑件書類	土木課
6229	大正 4～ 8年	記念館建築費本年度支出額節記念図書 館建築費支出関係書類	土木課
6260	大正 6年	記念館建築工事綴	
6233	大正 7年	記念会館及図書館設備費支出関係書類	土木課
4005	明治36年	横手中学校図面	六百三十五号 建築係
6258	明治37年	工業学校本館関係書類	建築係
6253	明治42年	高等女学校建築費	土木課
6255	明治43年	大館中学校建築工事関係書類	秋田県
6267	大正 2年	農林学校建築工事関係書類	秋田県
6269	大正 3年	農林学校建築工事関係書類	秋田県
6232	大正 7年	原蚕種製造所建築書類	土木課
6264	大正11年	水産試験場建築工事関係書類	土木課

(展示紹介したものは土木行政の営繕関係簿冊群の一部です)